

刊夕日六廿月七



定価 一部五銭 五部五銭 郵費五銭  
 廣告料 五號十二字 第一行 金五銭  
 日曜祭日の週日休刊  
 発行所 常磐宮日新聞社  
 印刷所 常磐宮日新聞社

### 日本精神と神社 (三)

石城郡神社總代人大會席上講演筆記

國學院大學教授 河野省三

所が天照大御神様が御女命の面白い踊りによつて天の岩戸からお出ましになりますると、一同大歡びで高天原の神々が皆歡聲を擧げたと云ふことです。さういふ工合に、一面於て嚴肅なものでありませんが、他の一面つばはに夜の明けたやうな場面が出現する。お祭といふのは然しかういふものである。つまり祭りといふ言葉祭といふ言葉は、嚴肅な気分と快活な気分を持つて居る。日本のお祭り祭は嚴肅味と快活味との両面を持つて居る。それだから祭とかお祭りとかいふ言葉は丁度、今の日本人の

要求に適つた言葉である。(拍手起る)然ういふ譯でお祭といふ言葉祭といふ言葉が頻りに行はれて居るのであります。現代日本人は此のやうに嚴肅味と快活味との二大要求を持つて居るのであつてその要求の現はれは此の祭りと祭といふ言葉の流りとも祭といふ言葉の流りともたらしめたものと思ひます。所で此の二大要求はその流行の直接原因でありまして、之れにはまだ二つの間接原因があると思ひます。つまり是れが補助となり脇から力添になる間接原因が又二つあると思ひます一つは何であるかと考へて

### 潮聲俳句【一】 第四十六回句選

會場木兔莊 (互撰)

三伏の候を撰みて夏書かな  
 藁一ツまたきもせてかまへたり  
 肘つきにきしむ机や雲の峰  
 白鳥の青白にしろき夕へかな  
 蚊軍屯して晝なほ暗き持佛堂  
 紫陽花の葉にもりあかり咲にけり  
 夜振人魚春のそき會ひ別れけり  
 飲む水のすく汗になる山路かな

素秋 二葉 文狂 香雨 晚寂 孤舟 武門 十里

みますのに、現代日本人は一種の宗教的情操即ち、温かい宗教的気分を要求して居る。皆さん、日本は今や科學が進歩して、物質的文明が盛んでありますから、宗教の如きは見る影もなくなつたと思つたら大間違ひであります。成程昔に較べれば或は衰へたかも知れませぬが、現代日本は心の奥深く或る宗教的情操を要求して居るのであります。此の事は宗教家は特に忘れてはならない。今日の我が社會は何となく或る温かい一種の靈的な気分を要求して居るのであります。其の證據には、近頃宗教々々の必要といふことが盛んに唱へられて來てをります。宗教々々の気分が可なり濃厚になつて來てをるのであります。今日は好い機會でありますから愚見を申上げて皆様方に此の方面の御心添へを願ひたいと思ひます。宗教々々が何うしたならば最も完全に行はれるかといふと、私は斯う考へる。現代日本人の心の奥底深く、温かい氣持、如何にも眞面目な心持を持たせるに就ては少くとも七つの事柄が必要である其の一つは宇宙の大なることを考へさせる。(續く)

初夏サロンの新装  
 店内清楚にして氣持良  
 アイスクリーム 十五銭  
 タンク入りソーダ水 十五銭  
 ドーゾ御用命を……  
 田町サロ  
 電話……三五二番

土用の丑  
 うなぎの御用命は  
 専門の江戸川へ  
 電話五四七番

食堂部開店  
 料理店は従前通り營業を續けて居りますから此際倍舊の御愛顧賜り度く御願ひ致します  
 福榮亭  
 (番五二三電)町田平

土用の牛肉大賣出し  
 並肉 百匁 二〇銭  
 中肉 三〇銭  
 上肉 四〇銭  
 ヒレ 五〇銭  
 ロース 六〇銭  
 田町大通り 三三三三屋  
 電話三三三番

土用の丑日  
 大賣出し  
 柳川 一人前 金二十五銭  
 うなぎ 金三十五銭  
 うなぎ 金五十銭  
 蒲焼 金五十銭  
 右大々勉強出前迅速  
 ◎滋養豊富!!!風味美味!!!  
 是非一度御試食を……  
 大蒲焼・鳥料理 魚榮  
 壽司・折詰仕出し  
 田町(電話四二四番)

土用の丑  
 うなぎ奴へ  
 是非御用命は!!!  
 田町丸新デパート  
 電話二二二番

土用の丑の日  
 牛肉大賣出し  
 ヒレ百匁二付 金六十銭  
 ロース 全 金五十銭  
 上肉 全 金三十五銭  
 並肉 全 金二十銭  
 品は特に吟味致します  
 何卒御用命は  
 電話六六七番へ!  
 配達迅速 大塚肉店  
 平塚前新道通り

牛肉大賣出し  
 電話三三三番

# 平町主要産物

## 値段安の影響から

### 産額前年より六十萬圓減

平町に於いて昨年七月以降、本月迄の一ケ年間に亘る各種産物の産額を聞くに前年度の總計百九十九萬六千三百九十七圓であつたのが本年は百二十三萬七千六百三十九圓に低下し六十六萬圓八千七百五十八圓の減を見て居るが是れは産額數量は前年と左程劣らぬに拘らず値段安の影響を蒙つた爲である。

あると主なる産物は左の如くである

(米) 二千七十七石 三萬二千二百四十八圓(麥) 五百一十一石 二千六百五十七圓(蚕糸類) 一萬三千六百四十五圓(醬油) 千七百五十七圓(清酒燒酎) 六百五十七石 五萬一千六百六十五圓

## 木炭 投資防止に 組合が対策

濱三郡木炭同業組合の生炭業者は不況と夏枯れの爲め生産が殆んど休業同様にて冬期以來の抱へ込み品を整理して居るが最近組合員の中に整理の一策として検査を受けず自動車にて茨城地方に移出し安價に投資を行ふ者があるので製品の優良を以つて鳴る組合製品に非常な悪影響を及ぼす爲め組合では是が対策を考慮中であると

## 平町の

### 養鶏状況

#### 恐ろしい下落振

平町役場で最近調査した市内の養鶏状況に依ると十羽以上飼養する家が百二十軒、五十羽以上が八十五軒、飼養数は雌が八千七百七十羽、雄が二百五十羽で合計八千四百二十羽に達して居るが一羽平均額が五十錢強と云

天満宮に 平町紺屋 お清書を 町青年分團にては来る二十七、二十八の兩日縣社小鍬倉神社境内の天満宮祭禮に付き懸賞募集してゐる書方及圖書を平第一小學校第五六學年生徒に應募せしめたが青年團にてはこの作品を御神燈に張付け各々賞品を授與すると

## 雜貨迄も購買

内郷村の信用組合 既報石城郡内郷村信用購買組合では本月一日より新築事務所に移轉し従来の金融及び肥料購入の外近く雜貨の購買をも行ふべく計畫中

教員遊戯講習 石城郡第三區女教員會にては今夏八月八日より三日間平第一小學校講堂に於て郡下各

## 愛讀者へ謹告

本社の姉妹機關たる常磐毎日印刷株式會社は印刷能率増進の爲め先きに精巧なる「截斷機」を購入設備し更らに「最新式印刷機」を註文中の處近く製作完成して到着する事になりましたので工場内擴張の必要を生じ是れが爲め本紙を明日一日だけ休刊させて頂き戴きます。 昭和七年七月廿六日

## 常磐毎日新聞社

であるが同組合現在の状況は組合員二百七十二名貯金が二萬二千餘圓、付金四萬五千圓であると

小學教員の遊戯講習會を開くが科目は「表情遊戯及び律動遊戯の實際」にて講師は東京子供遊戯研究會主事 石城郡玉川村消防組第五部

## 平町の温度

平裁判所	八四、二
平刑務所	七九、〇
第一小學校	八四、〇
第二小學校	八二、〇
第三小學校	八三、〇
警中校	八一、〇
平商校	八五、〇
警女校	八三、〇
平役場	八五、〇
土木監督所	八五、〇
平警察署	八五、〇
團体事務所	八八、〇
平稅務署	八五、〇
平郵便局	八九、〇
平驛	九〇、〇
平營林署	八九、〇

## 防火貯水

玉川林城に

では地元林城地内に長さ四間、幅一間半の防火貯水池を工費三百圓にて設置すべく寄々協議中であると

平職界の報告

回求人の部

△配達 二十才前後 高卒 月五圓(飯野村某)

△女中 十七才以下 給料 面談(平町某)

△倉働 三十才前後 尋卒 月十圓(中村町某)

△回求職の部

△菓子職 二十七才 尋三 修給料面談(平町某)

△雜役 十八才 高卒 給料面談(好間村某)

△電機工 二十三才 早稲 田工手卒業 給料面談 (小川村某)

△土工夫 二十四才 高卒 給料面談(平町某)

## 提灯

### 御新佛御供養の 御法名人提灯の大奉仕

爪 形 一對房付 金一圓五十錢より  
角 形 同 金一圓九十錢より

其他岐阜提灯種々取揃へてあります

是非御下命は電話九五番

平四丁目

スガノヤ提灯店

## 海にも山へも!

### 御重入辨當

美味しくて滋養になりしかも體裁もよく何より中食には一番だと何處でも大好評です。何卒御持参下さい。

御料理 仕出し 錦水

電話四五四

## 耳鼻咽喉科専門

# 増田醫院

平南町 (電話四八二番)

# 夜逃げ男に告訴九通

## 行衛を嚴探昨夕捕る

### 偽造證書で借金のカラクリ

本年春平町長橋町奥山醬油店没落の後を家屋敷ぐるみ譲り受け「香久山酒店」の大看板を掲げて堂々たる

喜多方町山れ五十嵐文治工門(三)は突然去る十五日夜家財道具を始め商品類を悉皆貨物自動車にて何處にか運び去り「都合に依つて休業仕候」との張札を爲し行衛を晦して仕舞つた。だんく噂は擴大し債權者達が驚いて駆付けた頃には家内には一物もなく家屋敷等も親戚の某に抵當に這入つて居る事と如何とも手の下し様なく途方に暮れたが同人の

あつた事發覺し此外罪狀の數々が洗ひ出されるもの如く外にかこつて置いた同人の妾二名其他親戚連中等を參考人として續々平署に召喚されて居る

蠶種共同購入 石城郡下小川村養蠶實行組合では來る廿九日午後一時より村役場に於いて役員會を開き初秋蠶の蠶種共同購入の件に就いて協議を行うと

## 鮫川鐵橋から

### 投身自殺を企つ

#### 約八百間流されて

附近の者に救助さる

平町新川町六次大工職藤田平次郎方濯人宮田俊行(二)は本日午後一時頃鮫川鐵橋より投身自殺を企て約八百間流された處を附近の者に救助され生命を取止めた原因取調中

## 鑛泉

### 湧出發見

緒方氏の郷里

平區裁判所檢察局監督書記緒方新次郎氏は郷里の石城郡大野村大字白岩字金波二十五番地一内地内に鑛泉の湧出するを發見し之が分拆試験を縣衛生試驗所に出願したる所

無色とう明にして硫酸カ

## ラヂオ体操や水泳

### 平第三校の夏休プラン

既報平第三小學校にては職員會議を開いた結果今夏休中に於けるプランを左の如く決定された

(ラヂオ体操) 毎日午前六時より生徒及び一般父兄志望者等

(湯の岳登山) 八月六日五六年男子

(夜間學校) 八月八日午後十日兩日

明日の天気

今夜も明日も南よりの風晴れたり曇つたり驟雨

七七

今日晩の部

後六、〇〇 子供の時間

記 理科童話崎山草多路

後六、二五 コドモの新聞

關屋五十二

後六、二五 カレントトビ

ツクス、ハロルドバート

後七、三〇 講演

明日の部

前九、一〇 料理献立「若鳥栗松茸煮」朝倉長吉

前一〇、〇〇 運動競技

「全國中等學校野球大會第一豫選」

「兒童舞踊」七 花柳珠實

伴奏北村季美子

後〇、〇五 獨唱「荒城の月外」永井郁子 ビアノ

伴奏角田芳子

後二、〇〇 家庭講座「三味線のお稽古」(三)杵家彌七

後六、〇〇 子供の時間

童話「のぞみの太鼓」白倉文件

後六、二〇 コドモの新聞

關屋五十二

後六、二五 カレントトビ

ツクス、ハロルドバート

後六、三〇 山と海の講座

一 八島鳥水

後七、三〇 長唄名曲定期演奏「時雨西行」吉住小三

後八、〇〇 落語の夕(王子の狐)團洲樓燕技(えんまの首)雷門助太(たぬき)柳屋三五郎(たがや)桂文治

## 珠算の入賞兒童

### 昨日第一校競技結果

既報平第一小學校にては昨日午前十一時より第十七回珠算競技會を催したが各學年の入賞者は左の如くである

(五年)坂本行藏 葉谷公義 藤田榮一 關原定久 塚本正光(六年)志賀正義

## 浴場荒しの走り

### 早くも平署に捕る

石城郡湯本町宇領城居住大橋平治郎(三)は昨廿五日午後二時頃同郡内郷村字堀坂地内笠松堤内で水泳中の同村宮居住坑夫塚田正が脱いで置いた衣類及び眼鏡等を窃取せんとして發覺駐在所に突き出され本日平署に押送取調の結果同人は本月中旬頃から小名濱、豊間等の海水浴場脱衣場にて數件の窃盜を働いた旨自白したが本年最初の浴場荒しである

## 出稼中に妻が變心

### 出刃で斬る

けふ亭主送檢 双葉郡熊町村大字小入野字大阿久中野辰吉(五)は本日前十時半一件書類と共に平橋事局に護送され來つたが事件は今日二十二日午後九時頃辰吉が二ヶ年許り出稼して歸宅した所妻ソコ(八)は變心してつれなくあ

## 泥酔して借金催促

### 押し掛けて家主を毆打

平町新川町居住安部傳之助(四)及び松崎勝與(三)の兩名は昨夜十一時半頃泥酔し同町鈴木千代松方二階に間借りして居る勝田要治に借金の催促に押掛け寝靜まつた階下の鈴木に無断で上り込まんとし鈴木に整せられ憤慨兩名共に鈴木を毆打全治二週間の傷を負はした事發覺平署で取調中

## 平町人事

回出生

△材木町三二渡邊小次郎氏

長男久子

△北目町五當時東京市淺草區今戸町一丁目九添田喜正氏長女みよ

# 幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演  
近藤紫雲畫

第百一十一席 眞庭念流の達人櫻井五助

林藏を殺す密議

山毛谷戸の源太郎は座中を見渡して四邊に心を配はりやがて膝を進めて一同に對ひ

源「實は内々でお前方に聞きたいことがある」

と云はれて中新田の源七高萩の彌五郎、唐子の音吉玉川の權太郎などと云ふ高萩一家では何れも親分株の人々を初めとして門峰吉、藤太郎、角太郎などと云ふ者が

○「何だ見貴その聞きたいと云ふは」

源「さアこれを話すと就てはお前達の他に聞き人のねえ様にしたい、親分の阿母さんは何うした」

○「眼が痛いと言つて先刻名主様の親類達につれられて歸つてしまつた」

源「それでは他に聞く人も無えナ」

彌「今日の法事について来た日は俺たちより居ねえ」

源「それでは遠慮なく話しても出来る、時に此度旅人が諸方の賭場に飛込んで客人の懐中を洗ひ又場金をさむうと言ふ事だが、おめえ方も耳にした事あらう」

言はれて顔を見合せた良介、

達もその旅人のために金を渡はれてゐる、然し俺の賭場も荒されたと言ふては恥だから口を切る者もない

彌「そんな事も聞いたよ、上方訛のある旅人ださうだそれに裏表に見張りの奴

ばかりさらはれた」

云ふと唐子の音吉が音「見貴俺も六十兩ばかり遣られた」

源「さうか、奇體にその旅人は高萩一家の賭場ばかり荒すナ、これには後に恐ろしい奴が附いてゐるだらうと思ふ」

悠う云はれて彌五郎が彌「それに相違無い、その旅人を人形に使つてゐる太

夫は林藏であらうと思ふが兄貴はどう考へる」

源「俺もあつつのする事と睨んで置いた、其の證據は伊勢から客人が來てゐると

脇差を腰にはさ、せぬと云つた、就いて林藏を伊勢から歸すことにして遣つた、それでありながら子分の名で賭場を開きその他旅人を使つて俺達の繩張り荒すとは憎い奴だ、又今更云ふと愚痴な事だが親分の阿母さんも宜くねえ秋山先生や磯五郎に説き附けられて親分の石碑を建て又五十兩貰つた爲に俺達には何の法汰もなく林藏の罪を免すとは袖無い仕方だ、最も其當時は俺たちはこの土地に居ねえから渡りをつける事も出来まいが、何れ身内の者が歸つて來てから相談して御挨拶を致しますと云つても宜からう、僅な金に目がくらむとは……まアこんな事を言つた處で老人の爲た事とて驚愕してゐるんだから今日まで何も云はずに置いたが、然し快い心持はしねえ」



もあるとの事だ」

源「イヤ恥を言はなければ譯が判らぬと言ふ事もあるそこでおれの恥を話すが實はその旅人のために伊草の博奕場で七十三兩三分さらはれたよ」

それを聞いて彌五郎が彌「實は兄貴、俺も五十兩

脇差を腰にはさ、せぬと云つた、就いて林藏を伊勢から歸すことにして遣つた、それでありながら子分の名で賭場を開きその他旅人を使つて俺達の繩張り荒すとは憎い奴だ、又今更云ふと愚痴な事だが親分の阿母さんも宜くねえ秋山先生や磯五郎に説き附けられて親分の石碑を建て又五十兩貰つた爲に俺達には何の法汰もなく林藏の罪を免すとは袖無い仕方だ、最も其當時は俺たちはこの土地に居ねえから渡りをつける事も出来まいが、何れ身内の者が歸つて來てから相談して御挨拶を致しますと云つても宜からう、僅な金に目がくらむとは……まアこんな事を言つた處で老人の爲た事とて驚愕してゐるんだから今日まで何も云はずに置いたが、然し快い心持はしねえ」

彌「さうださうだ、阿袋さんの爲方も宜くねえ秋山先生に磯五郎が阿袋さんさへ抱込めば俺たちはどうにでもなると思つてした事に相違無い、まア何にしても憎い奴は林藏彼奴を斬つて親分の怨みを晴らし二つには俺たちの賭場を荒されたその返報もしなければならねえ、皆んな此處で揃つたが幸直にこれから林藏の許へ」と

云ふを源太郎がまア待てと制し

源「斬るにしても容易くは斬れねえ、彼奴は秋山要介から仕込まれた神影流の劍

術の名人だ、爲損じた時は恥の上の恥それで彼奴の身動きの出来ねえやうな所へ追ひ込んで斬つてしまふ」

彌「それはどうすれば宜いんだ」

源「俺が考へた事があるもつと前へ出てくれ」

彌「どんな法を書くナ、定めしうめえ工夫があるだらう」

源「斯うすれば屹度彼奴を殺す事が出来る、これならばどうしても奴は助かる事は無え、それは斯ういふ策を用ゐて」と聲をひそめた

源太郎が茲に計策を告げるそれはどんなことですか

藤沼醫院

平町紺屋町 電話五七〇番

時計眼鏡

トキワヤ 平一・電三三九

耳鼻咽喉科専門

大和田醫院

平町南町 電話一七〇

難波醫院

平町新川町 電話五〇二番

夏の御調髪は是非どうぞ……

明るい感じ！清々しく  
電氣バリカンの爽快な刈込み  
氣持よいシヤンアー電氣アイロン  
電氣マツソーゾの上品な仕上げ

□キツト皆様の御氣に召す御座います。

そして……御上品にと心を籠めてお刈する當理髮舖の優秀なる御調髪をぜひ一度御試めし下さい。

石崎理髮店  
平町(電話一八八番)

玉屋洋品店  
平町田町通電話六五六番

漆器は共専門が

品質の正確と!!!  
値段の破格と!!!  
在庫品豊富と!!!  
懸命の奉仕は!!!

弊店のモットー!!!

丸共榮漆器店  
平町三丁目北裏(元郵便局裏通り)  
各産産漆器 専門卸小賣  
記念表彰品 進物贈答品  
恩賜賞典品 賞品景品類  
御注文應調製  
◎店員募集(十三才より二十三才まで)

中村齒科醫院

平町鍛冶町七

難波醫院

平町新川町 電話五〇二番